

みずいろこども

みずいろのひかりが
ぼくを呼び覚ますから
花のように目を閉じて
風を待ってる
風を待ってる

夕陽色の眼差しに
ゆさぶられ流されて
もうなんにもきこえなくなって
風を視てる

とうめいのさざなみが
くりかえし世界を揺らし
記憶のすべてが
とけて消える

なないろの吐息で
ぼくに囁いてくるから
あたたかくて
ねむたくなって
無口になる

月が笑う
星が歌う
ひろがる宙
こわいくらい
きみといると
ぼくはただの
こどもになる

風と目があう
ぼくに話しかける
こんにちは
はじめまして、
じゃないよね

駆け抜けるよ
その瞬間
暗闇がはじける
手をつないで見上げる
ひかりのはな咲いてる

ゆらゆらゆらゆらゆら